



日刊日曜日... 発行所 平野町大町二丁目... 電話 二二二二

近頃知日派と云ふ語を... 使はれるが従来親日派を...

あはれ名門没落の悲運... 即ち志賀は警城十八万石の城主で...

見文彦氏の若松... 不轉動にして平土木への後任所長は郡山...

軍人後援分會... 會員募集協議... 帝國軍人後援會分會では八...

隔離病舎改築... 好間村古河炭礦では工費八百四十圓で同礦付病舎隔離病舎の改築を行つた

銀行の貸出と回収

同爲替の受拂状況

今年も續いて好況の模様

石城郡内には縣農銀支店、常を觀察すれば貸出が減少して回収が良好かつた十一年は比較的好景氣を示し同年末の現在高の増加は各業界好況の萌芽の兆かとも見られ又銀行爲替受拂高に於ては仕向額一千六百七十七萬五千圓この前年比は七〇三を減じ被向額は二千七百四十四萬七千圓で前年との比較は〇九三を増してゐるものゝ如き銀行の動きから見る一般の財況は決して悪くない様だと語られてゐる

面積は一躍四倍

人口は三萬を突破

平窪村と合併して

市制施行後の平の輪廓

平町と平窪村との合併による平市制施行の上申書は既報の如く縣に提出され縣當局から更に内務省へ送付し主務官の調査を経た上で愈々平市實現の運びとなるのであるが兩町の現勢は

▲平町周囲二里二十五町
東西二十六町 南北二十一町 面積〇・二七平方里
戸數五千五百一十 人口二萬七千三百七十一人

▲平窪村周囲五里二十五町
東西一里 南北一里二十町 面積〇・二七平方里
戸數五百七十

平町豫算町會

本會議今日招集

委員會たつた一日で終る

平町の豫算委員會は昨報通り四日午前十時から開かれたが議員諸君大いに非常時振りを發揮して同日午後六時過ぎまで審議進行結局

公費費經常部で三百圓を増額、町長報酬月額百三十五圓、町長報酬月額百三十五圓を月額百五十圓に増額した補助金關係で昨年の百五十圓から一躍三百圓に増額した軍人分會補助を五十圓減じて二百五十圓とすることに決定した

差引四百三十圓の増額に修正した、尙決算委員會も同日終了けふ午後二時から本會議を招集するが委員會修正案通り

公園南側梅林を

兒童の遊園地に

子供よ喜べ近く實現するぞ

別項平町豫算委員會では決定した公園費經常部増額三百圓の費途は近年心なき不風流人や子供達に荒されるまゝになつてゐる公園南側の梅林を整理して兒童遊園地としプランツ其他を設備し將來は猿や小鳥類を飼養して小動物園化し

季節外れ雷雨

昨日夕刻石城郡一帯に雷雨とともに小豆大の降雹あり、こゝ數日來すつかり春めいた陽氣に喜んでゐた地方人をびつくりさせた、これはオホツク海に發生した低氣壓の關係で農作物では畑作物の麥、菜類に多少傷ついた程度で大した被害はない様だが麥はこのために赤錆病、うどんこ病誘發のおそれがあるから石灰を撒めたものを撒布して置いた方がよからうと農試石城分場では語つてゐる

洗濯物に御用心

物干場を片ツ端から荒す

理由は根本は一月中在籍軍人分會第五班の基本財産造成のため同村鳴澤地内山林三反歩を借入れ立木を伐採したところ新妻がこれを窃取してしまつたと云ふのである

山荒し告訴

平野町大根本市美(三)は四日同村新妻(良三)を窃盗で平野に告訴した

小林所長等の

歡送迎會

明日六日住吉屋本店で縣土木關係今回の異動により平土木監督所長小林清吉氏の福島土木監督所長へ榮轉せるを初め接手大野浩氏の白河土木、書記宇佐神直人氏の夏井川改修事務所、夏井山書記伏

芝浦製作見習工

芝浦製作所見習工募集試験は四日平第二小學校で行つたが志望者七十四名のうち五十一名合格、平町の合格者は左の四名

志賀春治(古銀治町)高橋輝(胡摩等)梅津五郎(材木町)大田和(田町)

優良納稅村視察

相馬郡稅務振興委員は來る二十日頃勿來、豊間等の優良納

富岡特信

双葉郡龍田村の下繁岡坂本(四)は同村猪狩某(三)の後妻お何(三)と昨春來懇となり村内龜の湯及び富岡町岩井戸の千代の湯その他で密會してゐたことお何の夫に嗅ぎつけられ所轄富岡署に送還の告訴され去月末平検事局に召喚取

蘭ドセル... 今晩は北西の風、晴明日は南東の風、晴後薄曇(小名濱測候所)

嚴島から... 中山常銀支店長御ぶさた申して居ります、行用にてこんな所にうろつてゐます、うづれ拜眉の上(三月二日)

平商校卒業式... 平商業校の第十七回卒業式は來る二十日午前十時同校講堂に於て舉行する

區長、代理者... 今日町會で推薦平町では左の通り區長及び代理者を推薦

△區長 山本龍次郎(堤の内)
△代理者 島越由彌(仲間町)
新妻善吉(舊城跡)

縣稅滯納整理... 差押へ公費斷行縣稅務平出張所では十一年度前期分四千圓の滯納處分物件の公費を左の日に執行

△六日三坂 澤渡△七日上遠野 入遠野△八日川部 田人△十日磐崎△十二日川前△十四日泉△十五日小名濱 植田 錦 夏井△二十日大浦 湯本△二十五日飯野△二十六日神谷△三十日永戸

歸りがけに盜... 呆れた登樓客小名濱町漁夫笠原徳次(三)は去月末同町料理店比田木イシ方に登樓歸りがけに同家抱へ酌婦湯中みなさんの襟巻を盗んだのに味をしめその後數回に亘り同家に登樓しては衣類その他を窃取してゐたこと發覺四日平署に檢舉された

洗濯物に御用心... 小名濱町平福丸漁夫渡邊一夫(二)假名は去る一月末江名町北口比佐徳松方物干場から衣類數點を盗んだのを手始めに物干場専門に十七件の洗濯物窃盜を働き四日平署に御用となる

舊平城土岩城公末裔... 窃盜常習で檢舉... あはれ名門没落の悲運... 即ち志賀は警城十八万石の城主で關ヶ原の戦ひに石田三成方に味方して徳川氏から家祿を没收され能登國へ流され後羽州龜田で二萬石の城主となつた岩城忠次郎貞隆の後裔で家運の再興を志し妻ノイさん(三)と二人の子を郷里に残して昨年十月二日上野驛待合室で本所區石原町三の四大塚守二氏夫妻のトランクを窃取した外五件六百圓の窃盜を働いてゐたものと分つた

